

民主党・無所属クラブ
レポート

区政 白石けい子



練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生。練馬二小・貫井中・都立第四商卒。
保育士・社会福祉任用主事。NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立者。
「保育&介護」施設を高松にて提供中。第16期区議会に、福祉現場の声を届ける
ため区議会議員となる。現在、2期目。区民生活常任委員会、災害対策等特別委員
会・農業委員会所属。会派副幹事長 家族 夫・子ども4人 猫 1匹

18

発行 民主党・無所属クラブ
練馬区豊玉北6-12-1西庁舎6F
Tel 03-3993-1111(内7621~8)
fax. 03-3993-1197



第17期 練馬区議会 民主党・無所属クラブ一同
左から、白石けい子・石黒達男・土屋ひとし・浅沼敏幸・倉田れいか

基礎自治体の次勢が問われる時代。

平成24年度予算決定・議会報告

未来を見据えた施策を求む！

平成24年度の練馬区予算審議が終了した。経
済状況の低迷など、社会情勢の不安の中、一般
会計二千二百八十二億円余の予算でスタートし
ていくことになった。確実に少子高齢者社会を
迎える、この練馬区。今だけを見る施策ではな
く、将来を見据えた施策が求められる。そこで、
問題点を区長に訊いた！

▼避難拠点要員参加 しやすい職場づくりが 区民の命を守る▲

区職員が「避難拠点要
員」として参加する避難
拠点運営連絡会では、
平常時から、区・学
校の拠点要員やPT
A・町会等の意思疎
通を図ることを第一
任務としている。だ
が、教員や区職員は
日頃の業務に忙殺さ
れ、業務外となると、
参加が難しい場合が
あると聞く。「教・
職員として当然」と
言われても、そうは
いかないのが現実だ。参
加しやすい業務環境の整
備や付加価値を付けてい
くことが、先決ではない
だろうか。



24年度の保育所入所の
倍率が約8倍となってい
る現状を解消をすべく、
7園の私立保育園・認証
保育所二カ所が新たに開
設される。

だが、保育支援は、就
労する家庭だけの支援対
策ではなく、子育て家庭
の一時利用も可能となる

施設環境の充実も求めら
れている。

27年度には「総合子ど
も園(仮称)」の制度が
スタートするが、システ
ムへの検討課題がある。

さまざまな選択肢から、
子ども支援施策となるよ
う注視していきたい。

▼保育所待機児童対策 II 家庭の子育て支援対 策も急務▲

